

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
会員 各位

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
会長 岩澤 英喜

第24回定時総会結果のご案内について

先般、総会開催ご通知にてお知らせいたしました第24回定時総会は、予定どおりに開催され、下記のとおり決定されましたので、ご報告申し上げます。

記

1. 日 時 2022年6月19日（土） 10:00～11:30
2. 場 所 横浜ラポール 2階 大会議室
3. 成立状況 会員総数 457名
 議決権総数 457個
 出席会員数 本人出席 31名
 委任状 194名
 合計 225名
 出席議決権数 225個（総数の1/3を越え、総会成立）
4. 議案と審議結果
 第1号議案 2021年度事業報告の件・・・【承認】
 第2号議案 2021年度決算報告・監査報告の件・・・【承認】
 第3号議案 2022年度事業計画（案）の件・・・【承認】
 第4号議案 2022年度予算（案）の件・・・【承認】
 第5号議案 会則改正の件・・・【承認】
5. 添付資料
 第24回定時総会議事録

以上

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会

第 24 回 定時総会 議事録

日 時	2022 年 6 月 19 日（土）	10：00 ～ 11：30
場 所	横浜ラポール 2 階 大会議室	
会員総数	457 名	
議決権総数	457 個	
出席会員数	本人出席	31 名
	委任状	194 名
	合計	225 名

<議 事>

定刻、研修担当理事 和田攻が総会の開催を宣し、書記 柳井俊一を紹介し、会長 岩澤英喜より挨拶を行う。次に事務局理事 小島千尋が本日の出席者数および委任状数の総数が会則第 14 条第 2 項の総会成立条件に達しており、本総会は成立している旨を確認した後、議長に会長が選出され、議案の審議に入った。

【第 1 号議案 2021 年度事業報告の件】

<議案説明者と内容>

- ・ 広報活動報告：広報担当理事 河合由美子

主な説明内容：機関誌 2 誌（第 47 号 2021. 7<A4 版 8 頁>、第 48 号 2022. 1<A4 版 8 頁>）を計画どおり発行した。

- ・ 研修活動報告：研修担当理事 後藤貴久

主な説明内容：新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、前期は集合型での研修開催が実施できず、後期に 2020 東京オリンピック・パラリンピック報告と題し、車いすバスケットボール競技の古澤選手を招聘し、競技者からみた本大会や選手育成などについて講演をいただいた。また、競技運営スタッフとして参加した当協議会会員 2 名からの報告を行った。

- ・ 支援活動報告：事務局長 平山和幸

主な説明内容：横浜ラポール所管行事とその他のイベントについて以下のとおり報告があった。

① 横浜ラポール所管行事

5 月 5 日のハマピック陸上競技までは開催できていたが、以降の行事は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、フェスタ「フライングディスクの日」、フェスタ「ボウリングの日」、フェスタ「サッカーの日」だけが行われた。

② その他のイベント

ラポール以外の関連団体の他、学校系や企業から当協議会へのパラスポーツイベントの運営補助依頼が多く寄せられている現状について一覧表にもとづいた報告があり、特に初級障がい者スポーツ指導員養成講座の講師として 5 名の会員が担ったことは初めての試みであった。また、横浜市パラスポーツ担当者会議に招請を受け、12 月度より月例参加を行っている。

【第2号議案 2021年度決算報告・監査報告の件】

<議案説明者と内容>

会計報告：会計 安室茂美

主な説明内容：ポロシャツの頒布販売に伴う収支を計上した、Web会議用としてZoomの登録費用を計上した他、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、支出の低調が続き、繰越金が増加した。

監査報告：監事 志摩初枝、佐山篤

主な説明内容：出納簿、現金残高、記帳通帳を照合した結果、適正であることを認める。

<審議結果（第1号議案・第2号議案合わせて審議）>

承認（満場一致）

<主な質疑応答・意見>

なし

【第3号議案 2022年度事業計画（案）の件】

<議案説明者と内容>

広報活動報告：広報担当理事 河合由美子

主な説明内容：例年どおりA4版8項編集として機関誌を2誌（BASEL第49号・第50号）発行予定。第49号には定時総会報告、第50号には2023年度スポーツカレンダー、2023年度大会・イベント運営補助申込書をそれぞれ同封予定。

研修活動報告：研修担当理事 後藤貴久

主な説明内容：① 研修の計画について。

- ・前期、後期各1回の計画を行っているが、新型コロナウイルス感染症の状況が読めず、状況によってはテーマ変更や中止などもあること。
- ・前期の研修は、本日、総会終了後に「障がい者スポーツのサポートに必要な介助法」として行うこと。
- ・後期の研修については、近年、依頼と活動実績が多い「市内小学校におけるボッチャ体験教室について(仮称)」を行うこと。

② 今後のWeb申し込みについて

研修の申し込みや受講アンケートについて、どのような方法が皆様にとって使い易いかを検討しつつWeb化を進めていきたいこと。

支援活動報告：事務局長 平山和幸

主な説明内容：① 横浜ラポール所管行事

4月3日のハマピック「アーチェリー」から、5月22日「ふれあいスポーツ大会」までは順調に開催できている。

下期イベントのボランティア応募の締め切りは、8月31日である。

② その他の活動

- ・2021年度活動報告でも紹介したように、各種団体からの依頼が多く、今期も用命がある模様。
- ・今期の「初級障がい者スポーツ指導員養成講座」においても指導員資質の向上を目指して会員による講師を担う計画。

<審議結果>

承認（満場一致）

<主な質疑応答・意見>

意見：後期研修会とラポールイベントが同一日の計画となっているが、どちらも重要なイベントなので、今後は重複しないよう配慮をお願いしたい。

回答：研修会実施に際し、会場の予約を行う必要があるが、その時点ではラポールイベントの計画は決まっていない実状がある。重複は極力避けるように計画を行うが、ラポール施設予約のルールとラポールイベントの日程決定時期の都合から、計画が重複する場合もある。

【第4号議案 2022年度予算（案）の件】

<議案説明者と内容>

会計報告：会計 安室茂美

主な説明内容：支出の部において計上していたインターネット費を通信運搬費に編入した。

<審議結果>

承認（満場一致）

<主な質疑応答・意見>

質問：支出の部で、次期繰越金を計上しているが、期中に支出が増えた場合、この項目予算を充てるのか否か。

回答：予算で計上した金額より支出が多くなったときは使用する。

意見：次期繰越金は、年度末の決算時の余剰をもって充てるのが一般的。上記の趣旨であればこの金額は予備費ではないのか。決算を迎えていない時期に次期繰越金を計上するには、違和感を感じる。

回答：収入における年会費補助金については、日本パラスポーツ協会からの収納が第2四半期となる。このタイムラグのため、前年度から次期繰越金として確保しておかないと、次年度開始直後に、使用できるお金が無くなる恐れがあるためこの様に運用している。

意見：支出の項目に繰越金が出てくるのは馴染まないだけでなく、費用に充てることはできない。昨年も発言したが、留保を増やさず、必要な費用に支出を図ってもよいと思う。

【第5号議案 会則改正の件】

<議案説明者と内容>

会則改正提案：事務局理事 松川文博

主な説明内容：新旧対照表を参照しつつ、全ての条文の読み上げ確認を行った。

<審議結果>

全条文において満場一致で改正案が承認された。なお、各名称変更案に関しては、総会稟議を行わず、役員会合議にて実施してよいことが合せて承認された。

<主な質疑応答・意見>

意見：役員会について、役員構成に監事を含めているが（会則第9条）、役員会開催の時は「監事を除く」とある（会則第15条）。そもそも監事は役員なのか、監事は別なのか。理解しにくい。会則を見直すのだから、そこへの配慮も検討してはどうか。

回答：監事の役員会参加はオブザーバーとしています。

以上の議案をもって本日の議事が終了し、議長が解任され、司会は 11 時 30 分閉会を宣した。

2022 年 6 月 30 日

議 長	岩澤英喜
書 記	柳井俊一
議事録文責	平山和幸